

# 本宮駅東西自由通路等整備計画策定に関する

## 提 言 書

平成27年8月

本宮駅東西自由通路等整備計画検討委員会

# 目 次

はじめに	1
・ 1 本宮駅周辺の現状	2
1-1 本宮駅周辺の現状	2
・ 2 本宮駅周辺東西アクセス整備計画書について	2
2-1 基本方針	2
2-2 整備方針	2
・ 3 自由通路・駅舎・西口広場の配置について	3
3-1 自由通路・駅舎・西口広場の配置の前提条件について	3
3-2 自由通路・駅舎・西口広場の配置の検討結果について	4
・ 4 自由通路・駅舎等の形状及び機能について	6
4-1 自由通路・駅舎の形状及び機能の前提条件について	6
4-2 自由通路・駅舎の形状及び機能の検討結果について	9
・ 5 西口広場のあり方について	16
5-1 西口広場の前提条件について	16
5-2 西口広場の検討結果について	16
・ 6 提言のまとめ	20
6-1 提言のまとめ	20

## 参考資料

本宮駅東西自由通路等整備計画検討委員会名簿	22
検討委員会開催経過及び内容	23
本宮駅東西自由通路等整備計画検討委員会設置要綱	24
本宮駅東西自由通路等のアンケート結果とその分析について	26

## はじめに

本宮駅の周辺に形成されている本市の中心市街地には、市役所を始めとする公共施設や商店街、住宅など様々な機能が集積されており、祭りや花火大会など、にぎわいを育む多くのイベントも開催されています。平成24年には本宮駅前東口広場が完成し、新しい玄関口として多くの方に利用されています。

一方、近年では、国道4号沿道を中心に大型店舗の出店や民間開発による大規模な住宅地造成など、駅西側への市街地拡大が進んできました。

しかしながら、そもそも市街地が国道4号やJR東北本線、阿武隈川により東西に分断されている上に、駅周辺のアクセス環境が整っていないことから、本市では駅利用を始めとする東西交流が不便な状況にありました。そのため、中心市街地における求心力の低下も懸念されています。

こうした中、平成26年4月に「本宮駅周辺東西アクセス整備計画書」が市において策定され、駅周辺の利便性の向上を図るための本宮駅東西自由通路や西口広場などの都市基盤整備の方針が示されました。

これを受けて、「本宮駅周辺東西アクセス整備計画書」に掲げる、「子どもからお年寄りまで安心して暮らせる、東西に活力あるまち」の実現に向けた、自由通路や駅舎、西口広場などの具体的な整備計画策定に係る提言を行うため、平成26年7月に各種団体関係者や地域住民による「本宮駅東西自由通路等整備計画検討委員会」を組織し、全8回にわたり検討を進めてきました。

検討にあたっては、宮城県の「陸前落合駅」「国府多賀城駅」「名取駅」の視察研修、本宮駅利用者や住民に対するアンケート調査などを実施し、市民及び利用者の視点から、自由通路等の整備方針に係る議論を重ねてきました。

本提言書は、それらを踏まえ、本市にふさわしい自由通路や駅舎、西口広場の実現に向けて取りまとめたものであります。

本宮駅東西自由通路等整備計画検討委員会  
委員長 今西 一男

## 1. 本宮駅周辺の現状

### 1-1 本宮駅周辺の現状

本宮駅周辺では、中心市街地の新しい顔となる「本宮駅東口広場」や保健・福祉・交流拠点としての「えぼか」、交通アクセス改善のための「大縄堀街道踏切拡幅」など、市街地活性化に向けた事業が展開されてきました。

しかしながら、JR東北本線で駅周辺が東西に分断されている状況の中で、東西を往来するためのアクセス環境は不十分であり、特に、子どもや学生、お年寄りを始めとした歩行者に対する安全・安心な移動空間が確保されていない状況にあります。こうしたことから、駅周辺への求心力の低下や交流人口の減少が懸念されています。

## 2. 本宮駅周辺東西アクセス整備計画書について

市で策定した「本宮駅周辺東西アクセス整備計画書」では、駅周辺の利便性・快適性の向上やにぎわい創出に向け、駅周辺の東西アクセス整備に伴う基本方針、本宮駅東西自由通路や駅舎、本宮駅西口広場に係る整備方針を次のように示しています。

本宮駅東西自由通路等整備計画検討委員会では、この基本方針等のもと検討を行いました。

### 2-1 基本方針

子どもからお年寄りまで安心して暮らせる、東西に活力あるまちへ！！

- ① 本宮駅周辺の安全・安心・快適性の確保
- ② 本宮駅周辺施設の利用のしやすさの向上
- ③ 本宮駅周辺の活性化

### 2-2 整備方針

- ① 本宮駅東西自由通路整備（駅舎改修及び附帯施設）
  - 子どもからお年寄りまで誰もが安心して利用できるよう、バリアフリー・ユニバーサルデザイン化に対応した（エレベーターや点字ブロック等）通路を整備します。
  - ゆとりと温かみのある空間やデザインに配慮し、いつでも安全に利用できる通路を整備します。
  - 駅舎については、利便性やコスト面等に関する比較から総合的に勘案し、

高架式（半橋上駅舎）での整備を進めます。

- 本宮市の玄関口として、シンボルとなるような駅舎についてJRと協議します。
- 駅利用者の待合せや、電車等の待合スペースを確保します。
- 待合機能に加え、市民の交流や憩いの場としての交流機能を持たせた施設を整備するなど、空間の有効活用を計画します。
- コミュニティ放送局やインフォメーションセンター（観光案内所）など情報発信と地域交流の拠点となるような空間作りに努めます。

## ② 本宮駅西口広場整備

- 乗降場や送迎待ちスペース等を確保し、また、バス、タクシー等の乗り入れについて計画します。
- 渋滞を緩和するための円滑な交通ルートと、駅舎や自由通路へのスムーズな歩行経路の確保を計画します。
- バリアフリー・ユニバーサルデザイン化を推進し、誰もが気軽に利用しやすい開放的な空間づくりを目指します。
- 周囲との調和を図りながら、植栽やモニュメントなどの配置や魅力的なデザイン創出の検討を行い、良好な景観形成に努めます。
- イベントの開催や災害時の一時避難所となる、市民交流広場の確保に努めます。
- 広場の有効活用と地域活性化のため、市民が自由に利用できるスペースの確保を目指します。
- 本宮駅周辺や駅利用者などの利便性を図るため、利用しやすい駐車場・駐輪場を整備します。

## 3. 自由通路・駅舎・西口広場の配置について

### 3-1 自由通路・駅舎・西口広場の配置の前提条件について

自由通路・駅舎・西口広場の配置を検討するにあたっての前提条件の整理を行いました。

#### □ 前提条件1：東西双方の利用者の利便性確保

- ① 東口広場と西口広場からの歩行者の動線を考慮しながら、東西双方の利用者の利便性を確保する必要があります。

#### □ 前提条件 2 : 1 駅 1 改札口の原則

- ① 東日本旅客鉄道（株）では、駅舎の改札口は 1 駅に 1 箇所が原則となっています。
- ② 例外的に駅利用者が多い場合や駅ビルと隣接している場合などは、2 箇所以上の改札口が設置される場合もありますが、本宮駅の駅利用者や利用形態では設置はできません。

#### □ 前提条件 3 : 自由通路のみの検討（現在の駅舎をそのままに自由通路のみ設置）

- ① 自由通路のみを整備した場合、バリアフリーに対応するためにはホーム間を結ぶ跨線橋にエレベーターを設置する必要があります。
- ② しかし、本宮駅の場合はホーム幅が狭いことや、エレベーターの荷重に耐えられる構造ではないため、現在の跨線橋にエレベーターを設置することができないので、ホーム等を改修して新たに跨線橋を設置する必要があります。
- ③ 西側からの利用者は自由通路と跨線橋それぞれの上り下りが必要となります。

#### □ 前提条件 4 : 大規模支障物の確認

- ① 本宮駅構内には、保守基地線路や保線事務所、その他の鉄道関連施設など、移転に多額の費用と時間を要する物件が存することから、なるべく回避できる配置を検討する必要があります。



（前提条件 1 から 4 の整理）

#### ～「橋上駅舎による整備」（改札口は 2 階）～

- 自由通路と駅舎は、東西双方の利便性の向上やバリアフリーに対応するため一体的な整備を行い、橋上化を図ることが必要です。
- 西口広場は、東口広場との繋がりを考慮した配置が必要です。
- 自由通路と駅舎、西口広場の配置にあたっては、支障物の移転を最小限に考慮することが必要です。

### 3-2 自由通路・駅舎・西口広場の配置の検討結果について

前項の前提条件を基に、「自由通路・駅舎・西口広場配置図（案）」（P 5）を用いて A から C における配置案の検討を行いました。

#### ① 自由通路・駅舎

- A は、支障となる対象物は少ないが、東側の駅前通りと西側の公共施設に

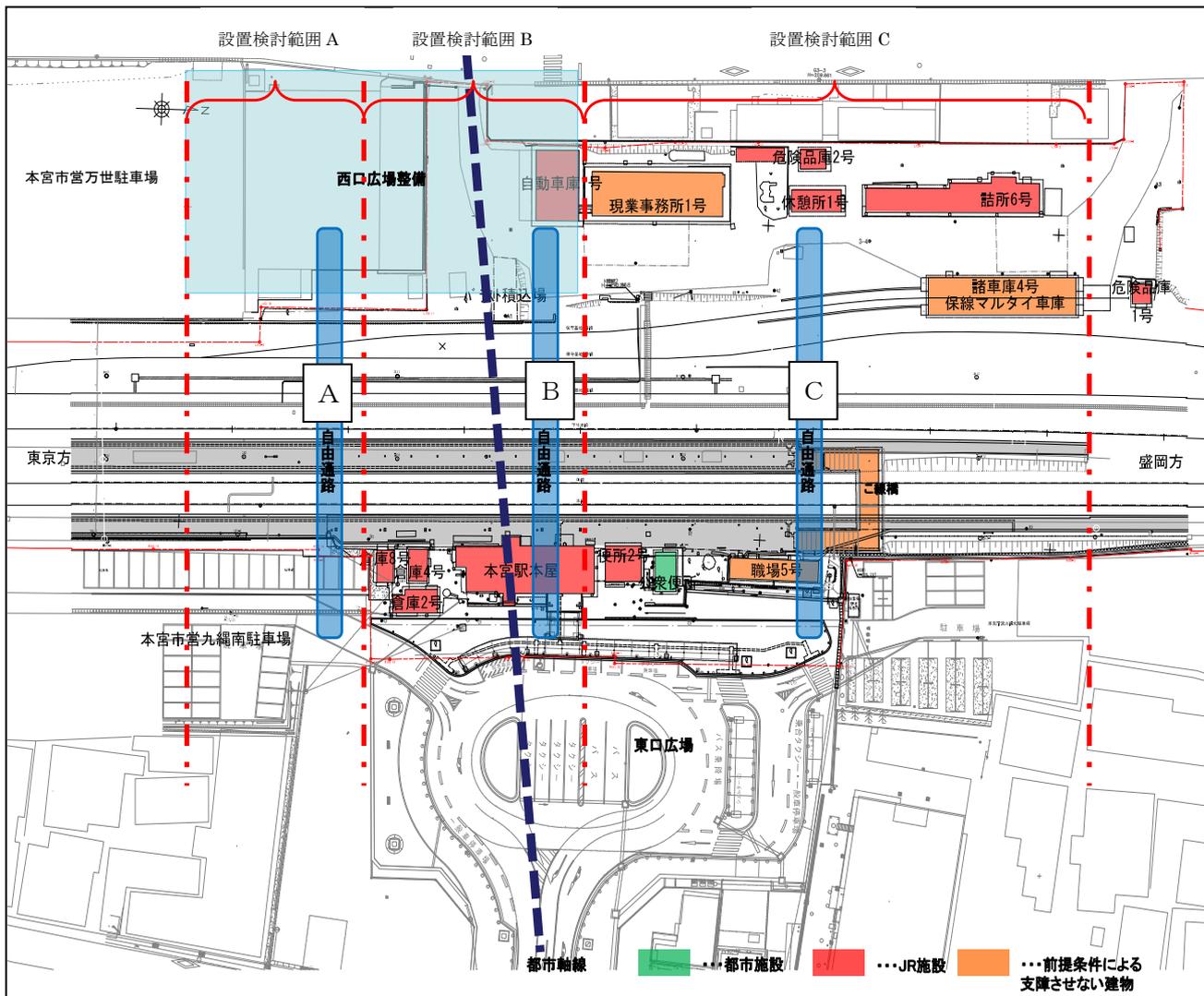
- つながる都市軸から離れており、東口広場に繋がらないことから、駅利用者の動線が長くなり、利便性の向上は図られません。また、南側の月極市営駐車場が大きく潰れてしまい、東口広場から駐車場への進入も妨げられます。
- Bは、現在の駅舎が支障となりますが、駅前通りを中心とした都市軸のほぼ正面に位置していることから、駅利用者の動線が短く、利便性の向上が図られます。
  - Cは、保守基地線路や保線事務所、通信機器室など、本宮駅構内にある重要施設が支障となり、移転に際して多くの費用と時間を要します。

② 西口広場

- 東口広場との円滑な動線の確保と本宮駅構内にある重要施設を回避する配置が必要となります。

以上のことにより、自由通路と駅舎はBの位置、西口広場は着色部（水色）の位置に配置することが最も望ましいという結果となります。

【自由通路・駅舎・西口広場配置図（案）】



## 4. 自由通路・駅舎等の形状及び機能について

### 4-1 自由通路・駅舎の形状及び機能の前提条件について

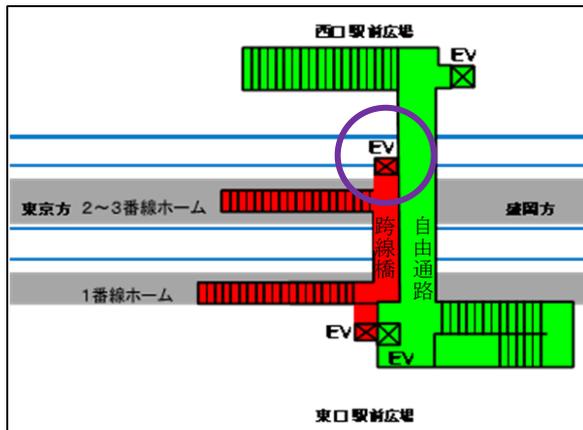
#### ～自由通路・駅舎の形状に関する核となる整備方針～

- 橋上駅舎
- 自由通路と跨線橋の一体施工（施工費の圧縮が可能となる）
- バリアフリー化の対応（エレベーター設置）

#### □ 前提条件1：ホームの幅が狭い

本宮駅の場合、2番・3番線のホームの幅が狭いため、上記で示す「自由通路と跨線橋の一体施工」と「エレベーター設置」を同時に実現することが難しくなります。

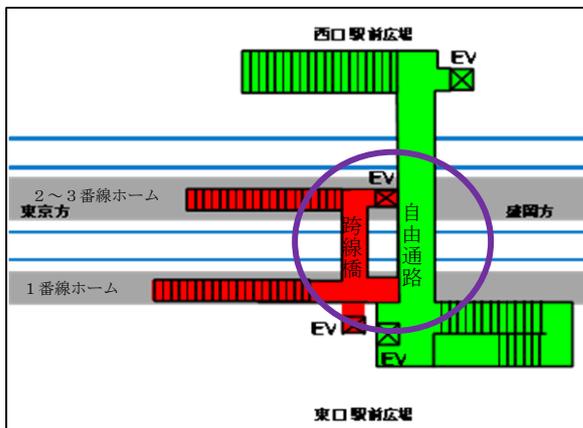
#### ① 自由通路と跨線橋を一体施工した場合



凡例  
■ : 駅舎機能  
■ : 自由通路機能

現在の2番・3番線のホーム幅で自由通路と跨線橋を一体施工するとエレベーターをホームの外に設置することになり、ホームの幅を拡張する必要が生じるが、ホームの拡張には多額の費用を要する。

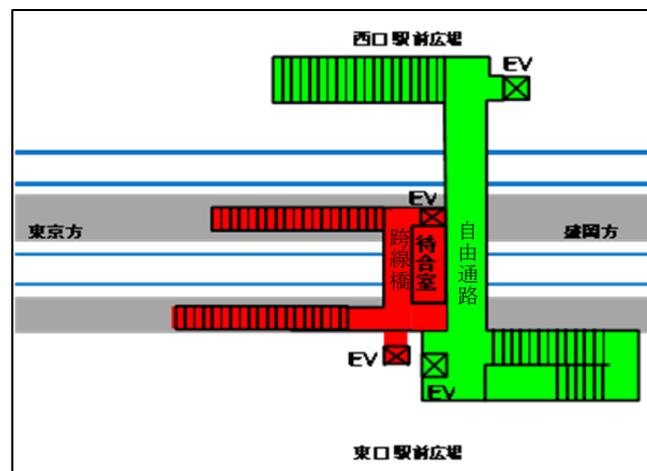
#### ② エレベーターを2番・3番線のホーム上に設置した場合



現在の2番・3番線のホーム幅にエレベーターを設置すると、エレベーターを設置するスペースを確保することから、自由通路と跨線橋の間に空間ができしまい、自由通路と跨線橋の一体施工が不可能となる。

## ～ 本宮駅での改善策 ～

「①自由通路と跨線橋を一体施工した場合」ではホームを拡張する必要があり多額の費用を伴うことから実現は難しく、「②エレベーターを2番・3番線のホーム上に設置した場合」は、自由通路と跨線橋の間に空間ができるものの、その空間に待合室などの駅舎機能を設置することで自由通路と跨線橋の一体施工も可能となるうえ、施工費も圧縮できることから本宮駅の場合、下記の図で示す形状を基本に検討することが望ましいと考えられます。



### □ 前提条件2：橋上駅舎と半橋上駅舎の相似性

「本宮駅周辺東西アクセス整備計画書」においては、施工費等を考慮して「半橋上駅舎」での整備方針が示されています。

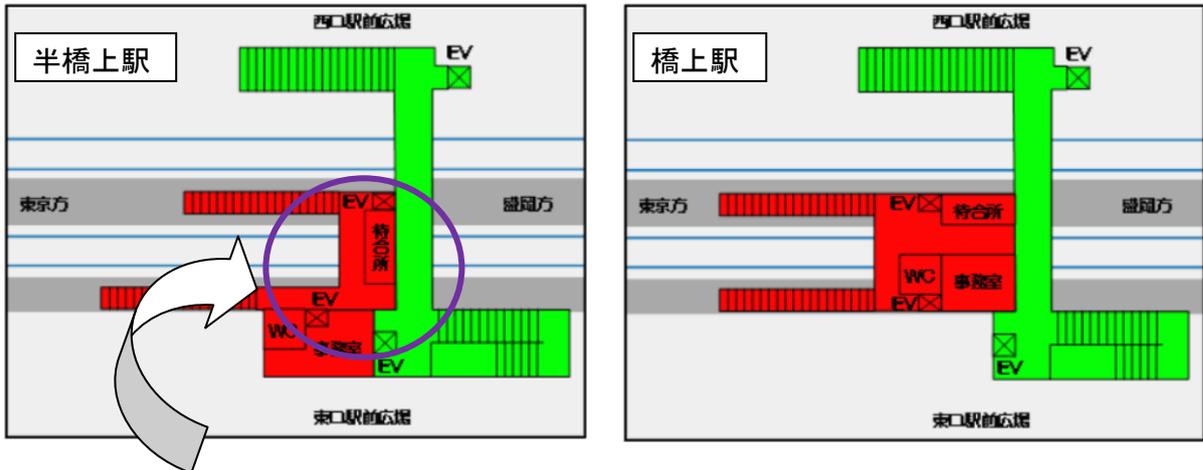
しかし、前提条件1で示した「自由通路と跨線橋の間に待合室などの駅舎機能を設置」する整備を行うと、橋上駅舎と半橋上駅舎の形状には大きな差が生じないこととなります。

#### 注釈

- 半橋上駅舎： 事務室や待合室等の駅舎機能（P8の図の赤色部）が線路上空を避けて配置された駅舎。線路上空を避けた工事となるため、橋上駅舎に比べて施工費が安価となる。
- 橋上駅舎： 事務室や待合室等の駅舎機能（P8の図の赤色部）が線路上空に配置された駅舎。線路上空での工事となるため、施工費が高くなる。

## ～ 本宮駅の形状について ～

本宮駅の場合、半橋上駅舎と橋上駅舎の両方を検討材料とし、自由通路や駅舎に付随する機能、利便性、コストなどを総合的に勘案しながら形状を決定することが望ましいと考えられます。



前提条件1を解決するために、待合室等の駅舎機能を線路上空に配置する必要があることから、半橋上駅舎の場合も橋上駅舎に近い形状となる。

### □ 前提条件3：都市機能（交流機能等）の必要性

自由通路と駅舎には、利用者が安全・安心、快適に利用できる空間づくりが必要となるので、都市機能の設置が求められます。

また、本宮駅周辺は市の中心市街地となっており、交流人口の増加やにぎわいの創出に寄与し、駅の東西双方の活性化に繋がるような整備が望まれます。「本宮駅周辺東西アクセス整備計画書」においては、駅利用者等の待合機能、市民の交流や憩いの場としての交流機能、コミュニティ放送局や観光案内所等の情報発信機能など、都市機能を自由通路と駅舎に付随させることが示されています。

利用者が安全・安心、快適に利用できる機能と活性化に繋がる機能を自由通路や駅舎に設置していくことが望ましいと考えられます。

設置する機能については、自由通路や駅舎の形状、コストなどを勘案しながら、利便性の確保や活性化に繋がる機能の加味について検討する必要があります。

## 4-2 自由通路・駅舎の形状及び機能の検討結果について

前提となる条件を基に、本宮市と東日本旅客鉄道（株）で実施した「東北本線本宮駅周辺整備基本計画調査」、委員会で実施した視察研修及びアンケート調査の結果を参考にしながら、本宮駅として相応しい自由通路と駅舎の形状と機能について検討を行いました。

さらに、都市機能については市が所有している九縄東駐車場に駅周辺のにぎわいの創出を目的とした地域交流センター（仮称）を整備する計画があることから、地域交流センター（仮称）も含めた検討を行いました。

### ～基本的な整備方針～

「本宮駅周辺東西アクセス整備計画書」を前提に、本提言書では、さらに形状や機能に関して、より具体的な整備方針の提言を行います。

- 駅舎の橋上化
  - ・ 駅舎の橋上化により東西双方の利用者の便利かつ平等な利用形態の確保を図る。
- 自由通路の幅員
  - ・ 歩行者や車いす利用者が安全かつ安心して通行できるような幅員を確保する。「福島県ひとにやさしいまちづくり整備マニュアル」に基づき、有効幅員3.5mが望ましい。
- 階段の形状
  - ・ 東口広場と西口広場を有効に活用できること、かつ、支障物を最小限とすることから、東側は「折り返し階段」、西側は「直階段」が望ましい。
- バリアフリー化
  - ・ 自由通路の東西及びホームに繋がる跨線橋にエレベーターを設置する。
  - ・ エレベーターは車いす利用者に対応可能となる大きさとし、駅舎の形状により15人乗り（エレベーター内で車いすが転回可能）、11人乗り（エレベーター内で車いすを転回せずに利用可能）を選定する。
  - ・ 自由通路及び階段に点字ブロック、手すりを設置する。
  - ・ 目が不自由な人のための音声案内の設置が望ましい。
- トイレ
  - ・ 自由通路の東西にトイレを設置する。
  - ・ 様々な利用形態に対応するための多機能トイレを設置する。

## □ 都市機能

都市機能については、市が所有している九縄東駐車場に地域交流センター（仮称）の整備計画があることから、「①自由通路・駅舎に設置を望む都市機能」と、「②自由通路・駅舎又は地域交流センター（仮称）に設置を望む都市機能」について検討を行いました。

### ① 自由通路・駅舎に設置を望む都市機能

- 待合スペース  
東西からの乗り入れに対応するため東西双方に設置する。
- 観光情報コーナー  
地域の活性化、観光客の回遊、地元住民の交流のために地域交流センター（仮称）と一体となった運営を図る。
- デッキルーフ  
駅利用者の利便性を高めるため、東西2階部分に設置する。

### ② 自由通路・駅舎又は地域交流センター（仮称）に設置を望む都市機能

- 多目的（交流）スペース・展示スペース  
地域交流センター（仮称）への集約を図りつつ、駅舎に設置する待合スペースに様々な用途に対応できる柔軟性をもたせる。また、展示スペースについては自由通路の壁面の有効活用も検討する。
- 情報発信スペース（FM）  
地域交流センター（仮称）への機能を集約し、効率的な運営を図る。
- 行政サービス窓口  
市民サービスの向上を図るための住民票等の自動交付機などについて将来的な設置の可能性も視野に入れた検討を行う。
- カフェスペース及び物販店  
駅舎への設置の可能性を優先的に検討する。

## □ その他

- ・ 利用者の安全、安心の確保を強化するための防犯カメラの設置が望ましい。
- ・ 自由通路から安達太良山の美しい景観が望めるデザインが望ましい。
- ・ 太陽の光を取り入れた清潔で明るく、みずいろのまちを象徴する自由通路と駅舎のデザインが望ましい。
- ・ 将来の維持管理費の抑制を考慮したデザインや材料の選定に努めることが望ましい。

### ～自由通路と駅舎の整備イメージ～

本宮市と東日本旅客鉄道（株）で実施した「東北本線本宮駅周辺整備基本計画調査」で示された計画案により、本委員会で検討した基本的な整備方針になるべく合致するP. 12～13の「1案」とP. 14～15の「2案」の2つの案から検討を行いました。

両案ともに、自由通路の幅員や階段の形状、エレベーターの大きさなど、基本的な部分では同じ内容であり、施工費も大きな差異はありません。

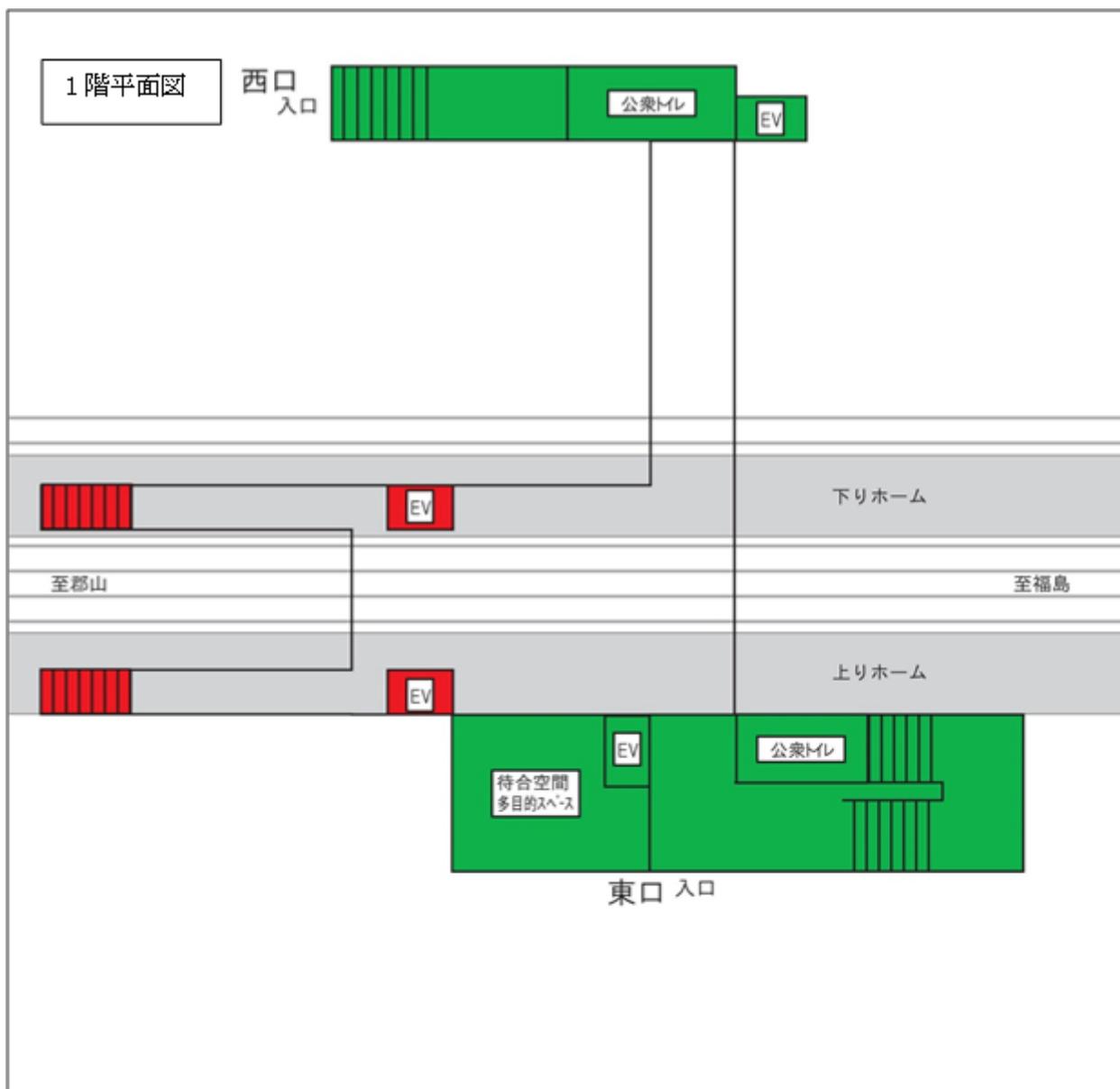
なお、アンケート結果では1案で42%、2案で25%の方が「良い」と答えています。

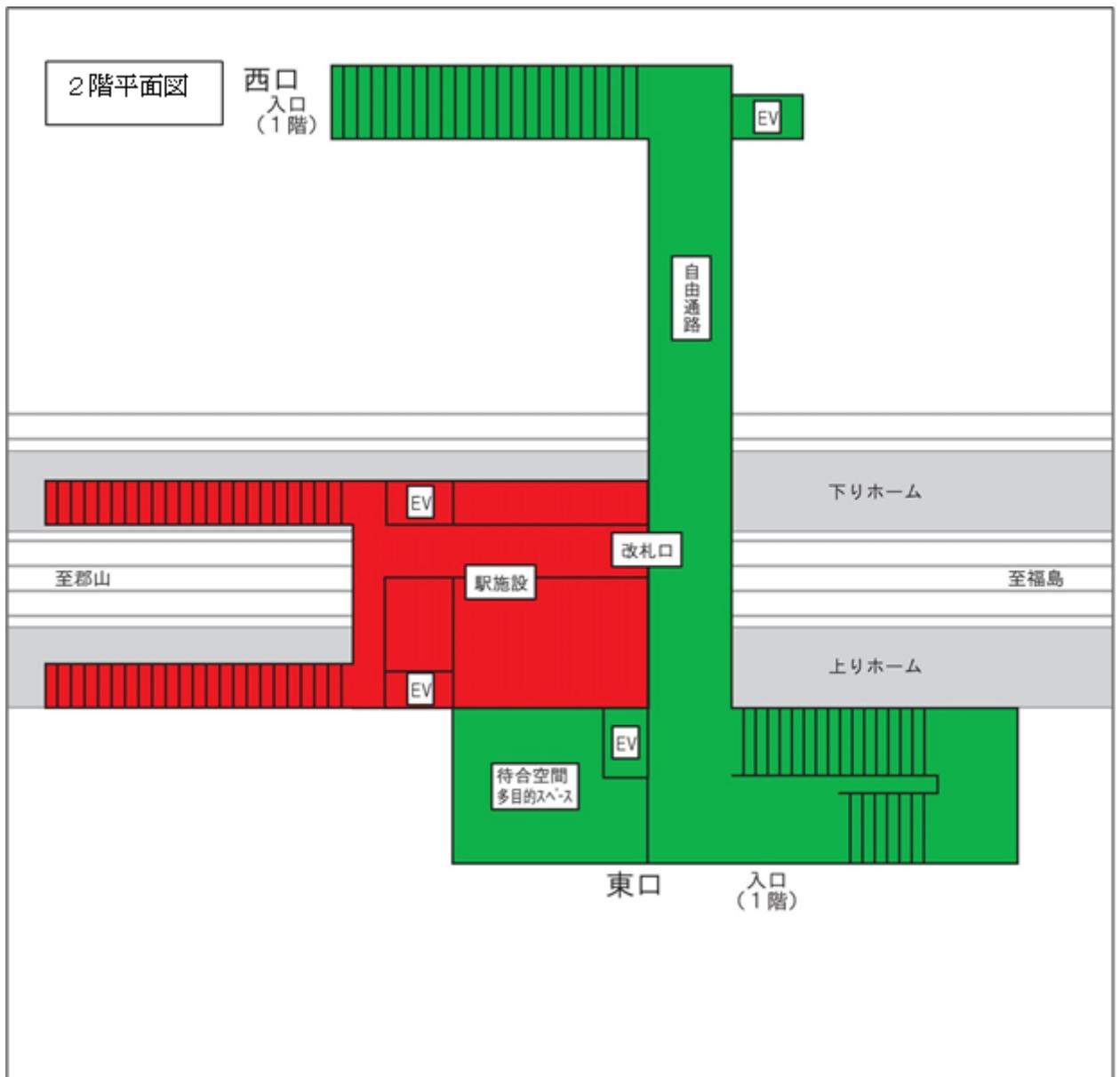
本委員会では、東西双方の利便性向上につながる駅舎の橋上化に加え、交流人口の増加やにぎわいの創出に寄与する都市機能を確保する必要があることから、1階と2階にほぼ正方形の形で都市機能スペースの確保できる「1案」を基本に整備計画を策定することが望ましいと考えます。

今後、東日本旅客鉄道（株）との協議、調整を踏まえ、もとみやの顔として相応しい自由通路と駅舎の整備計画が策定されることを望みます。

□ 1案

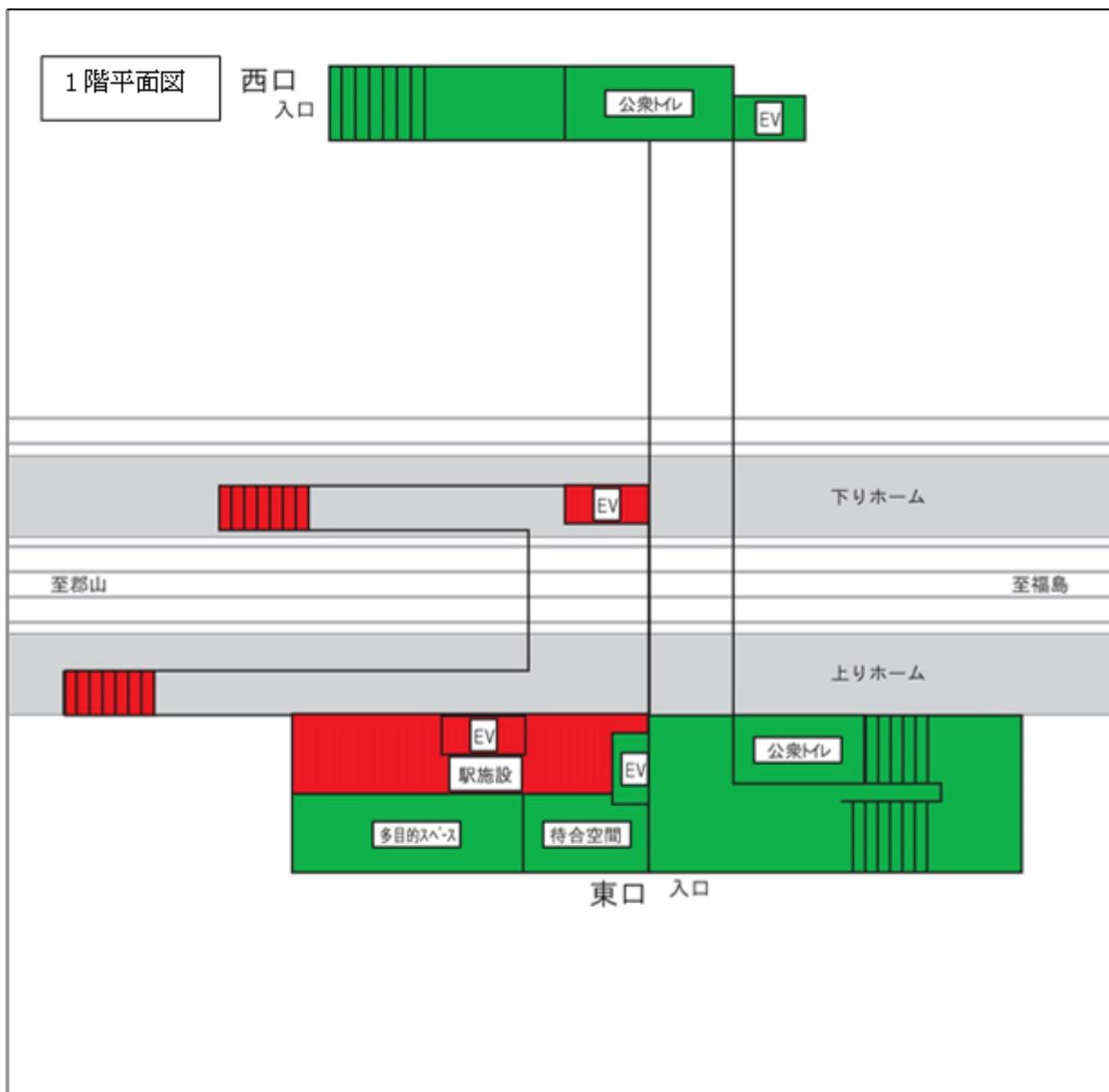
- ・ 駅舎機能がほぼ線路上空に占めており、完全な橋上駅舎となる。
- ・ 駅舎と自由通路の配置が分かりやすい。
- ・ 1階と2階にほぼ正方形の形で都市機能スペースの配置ができる。

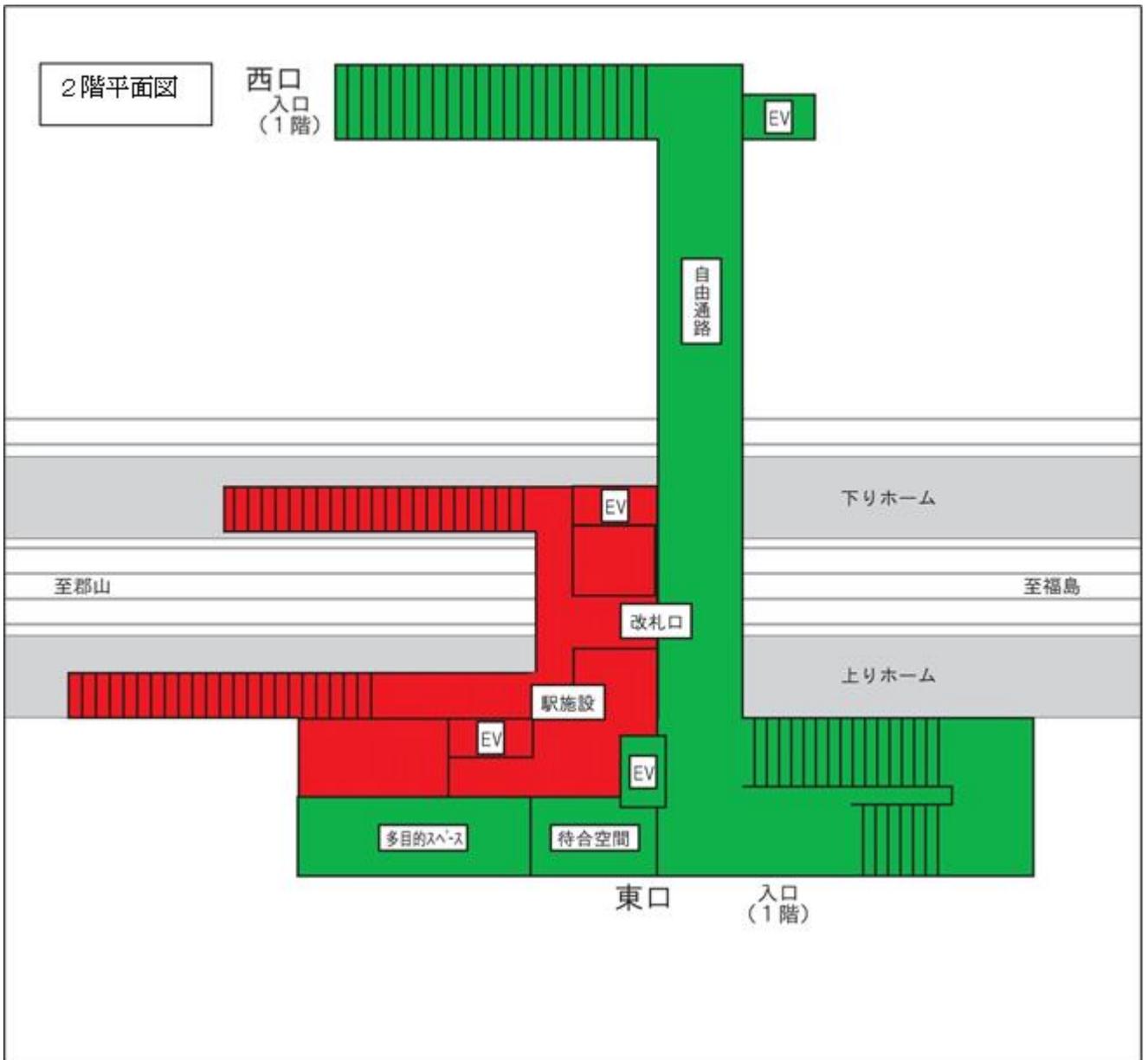




□ 2案

- ・ 駅舎機能が線路上空に占める割合は少ないが、限りなく橋上駅舎に近い半橋上駅舎となる。
- ・ 改札口からホームへの移動距離が短くなる。
- ・ 細長い形状となるが、1階と2階に都市機能スペースの配置ができる。





## 5. 西口広場のあり方について

### 5-1 西口広場の前提条件について

#### ～西口広場に関する核となる整備方針～

- 安全に通行できる車道と歩道の確保
- 駅前広場の安全な出入口の確保
- 自由通路への円滑な動線の確保

#### □ 前提条件：限定される西口広場の配置

「3. 自由通路・駅舎・西口広場の配置について」において示されていますが、本宮駅の西側には、保守基地線路や保線事務所など移転に多くの費用と時間を要する施設があります。

また、月極の市営駐車場も有しており、利用状況を勘案しながら最小限の影響範囲に止める必要があります。

こうしたことから、西口広場の配置が限定されることとなります。

(P5:「自由通路・駅舎・西口広場配置(案)参照」)

限定される配置の中でも、安全・安心、快適に利用できる西口広場を検討する必要があります。

### 5-2 西口広場の検討結果について

前提条件で示したように、西口広場の配置は限定されることとはなりますが、利用者の満足度向上のため、「安全に通行できる車道と歩道の確保」、「駅前広場の安全な出入口の確保」、「自由通路への円滑な動線の確保」といった、核となる整備方針は実現していくことが望ましいと考えられます。

こうしたことを踏まえ、駅利用者や住民に対するアンケート調査を実施しながら、西口広場のあり方についての検討を行いました。

## ～西口広場の基本的な整備方針～

「2. 本宮駅周辺東西アクセス整備計画書について」で記載していますが、この計画書の中でも西口広場に関する大まかな整備方針が示されています。

ここでは、前提条件を踏まえながらも、利用者が安全に、快適に利用するためのより具体的な整備方針の提言を行います。

### □ 広場の安全確保

- ・ 歩行者が安全に通行できるよう、幅が広くゆったりとした歩行空間を設置する。
- ・ 広場内における分かりやすい車両の流れを確保する。
- ・ 駅前広場への安全で分かりやすい進入路を確保する。
- ・ 歩行者などの安全を確保するため、車道と歩道との間にボラード（ポール）等を設置する。
- ・ 広場から自由通路に繋がる快適な歩行空間を確保するため、歩道にシェルター（雨よけ屋根）を設置する。
- ・ 夜間でも安全に利用でき、美しい景観を創出するような道路照明を設置する。

### □ 送迎、タクシー、バスの対応

- ・ 送迎による利用者に対応するための乗降や待機のスペースを可能な限り確保することが望ましい。
- ・ 大型バスの進入が可能となり、乗降もできるスペースを確保することが望ましい。
- ・ 必要最低限でのタクシープールや乗降場の設置が望ましい。

### □ バリアフリー

- ・ 広場内の段差を解消し、歩道には点字ブロックを設置する。
- ・ 障がい者用の乗降スペースを設置する。

### □ デザイン

- ・ 東口広場と駅舎との繋がりのあるデザインが望ましい。

### □ その他

- ・ 自転車利用者の利便性を向上するための駐輪場を配置する。

## ～西口広場の整備イメージ～

本委員会で検討した基本的な整備方針に基づき、「A案」と「B案」の2案の整備イメージ図から検討を行いました。両案の大きな差は、出入口の形状と大型バス進入の可否となっています。

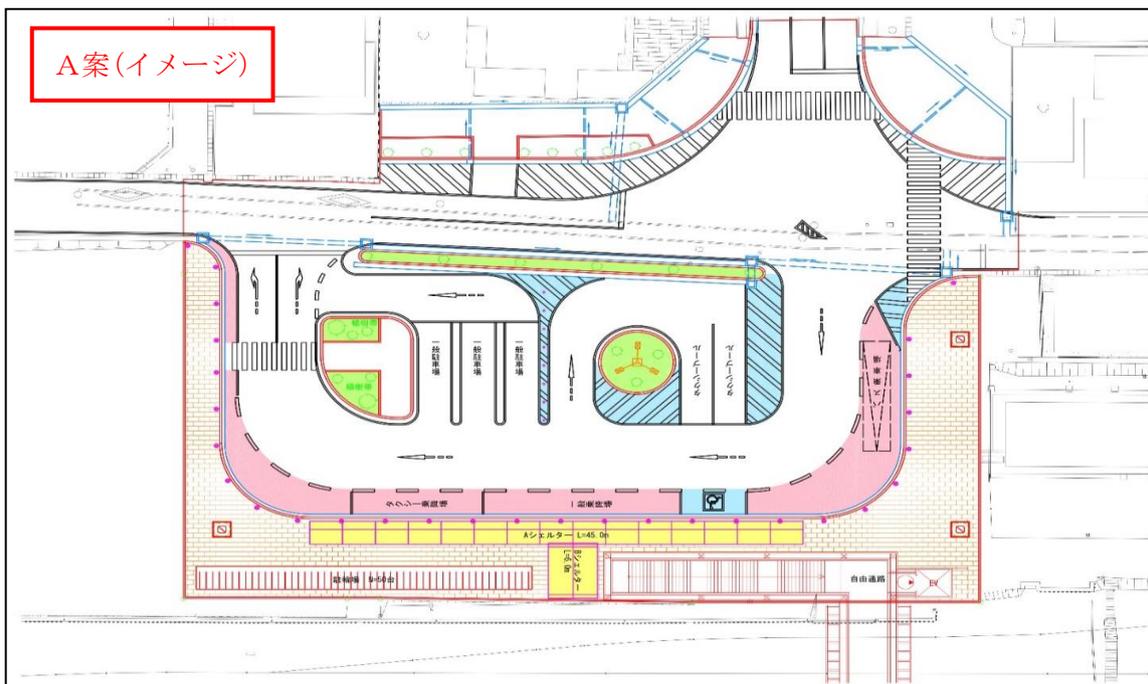
アンケート調査における比較では、「A案」で61%、「B案」で16%の方が「良い」と答えています。

本委員会でも、基本的な整備方針において、「広場内における分かりやすい車両の流れの確保」「駅前広場への安全で分かりやすい進入路の確保」「大型バスの進入」を掲げていることから、「A案」を基本に整備計画を策定することが望ましいと思われれます。

今後、公安委員会等の関係機関との協議を重ねながら、より良い整備計画を策定し、誰もが安全・安心、快適に利用できる西口広場が整備されることを望みます。

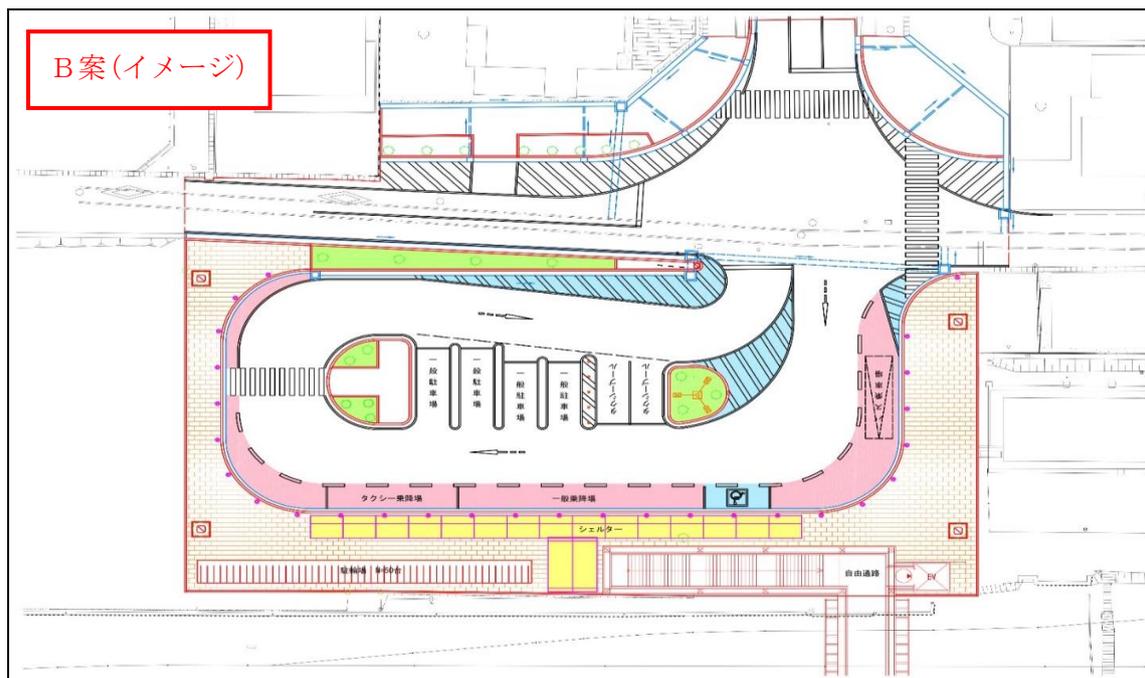
□ A案の特徴

- ① 入口と出口を分けて設置
- ② 大型バスの進入が可能



□ B案の特徴

- ① 入口と出口は1箇所
- ② 大型バスの進入不可（中型バスは可）



## 6. 提言のまとめ

### 6-1 提言のまとめ

本宮駅周辺の状態を考慮すると、自由通路・駅舎及び西口広場の整備は、駅周辺利用者の利便性向上と東西交流の活性化のために必要不可欠であると考えます。

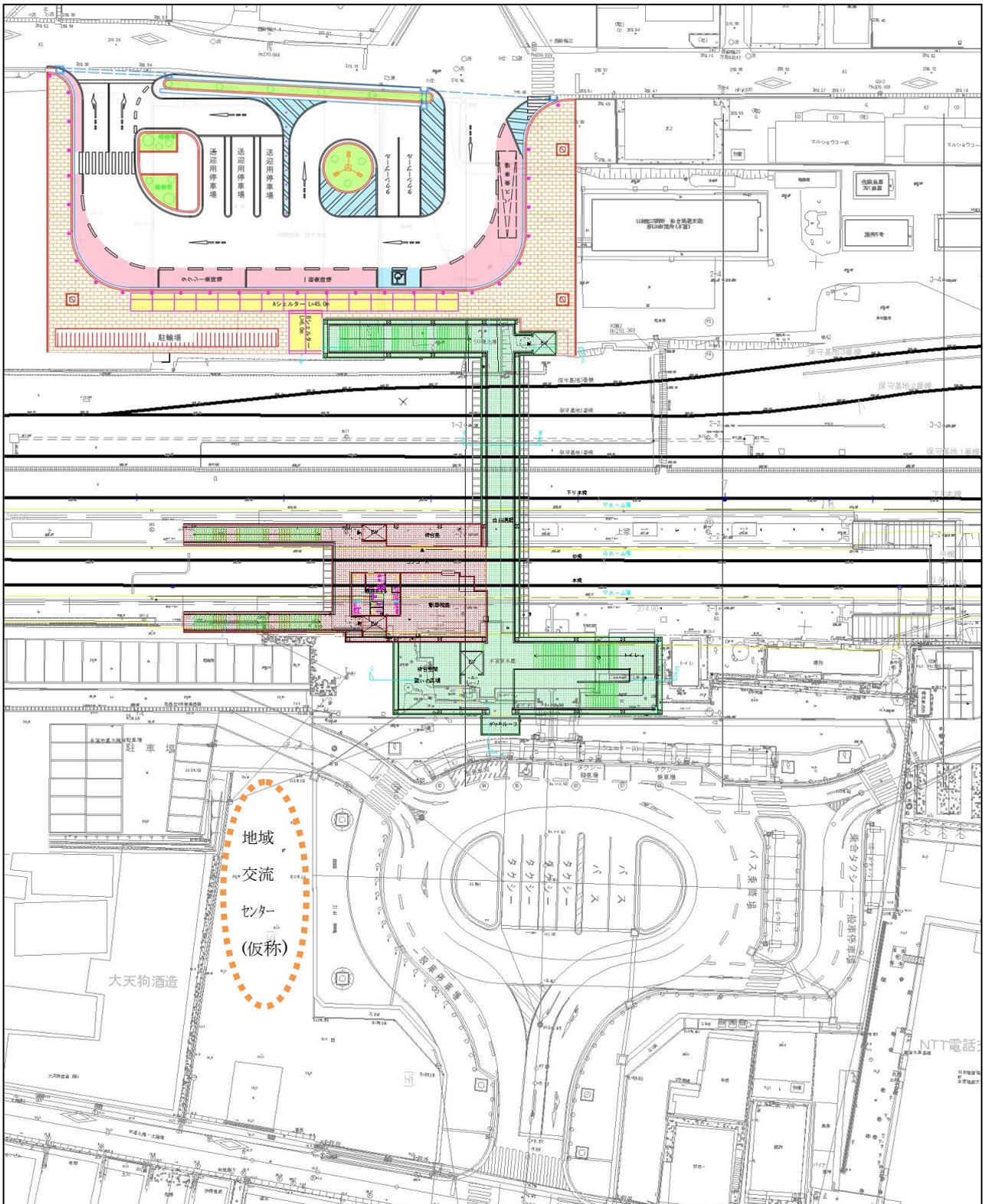
また今回、整備計画に関する提言書を作成するに当たっては、単に利便性を追求するだけではなく、本宮市、そして、中心市街地に相応しい施設としてのあり方を念頭に置きながら検討を進めてきました。

しかしながら、自由通路・駅舎及び西口広場の整備に関しては、多額の費用負担を伴うことから、効果的かつ効率的な投資を行う必要があるため、今後、関係機関等との調整を密にしながら、整備計画を進めていくことを望みます。

特に、地域交流センター（仮称）については自由通路・駅舎などそれぞれに果たすべき役割を明確にしながら、機能の集約や一体的な運営も考慮した整備が必要と考えます。

こうしたことを踏まえ、「子どもからお年寄りまで安心して暮らせる、東西に活力あるまち」の実現に向け、本提言書の方針を最大限に尊重しながら、より良い自由通路、より良い駅舎、より良い西口広場などが整備されることを期待します。そして、にぎわい溢れる中心市街地を創出し、魅力ある本宮市が実現することを望みます。

～駅舎・自由通路及び西口広場の整備イメージ～



**【参考資料】**

**本宮駅東西自由通路等整備計画検討委員会名簿**

No.	委嘱規定	氏 名	備 考
1	要綱第3条第2項第1号 (学識経験者)	いまにし かずお 今西 一男	福島大学行政政策学類教授
2	要綱第3条第2項第2号 (各種団体関係者)	おぬま さだひこ 小沼 貞彦	本宮市商工会長
3	〃	いとう ゆきお 伊藤 幸夫	(株)Mot.com もとみや 代表取締役
4	〃	つもり けんご 津守 研吾	(社)もとみや青年会議所元理事長
5	〃	えんどう ときお 遠藤 登喜男	本宮市商店街連合会長
6	〃	こくぶん あきこ 国分 昭子	本宮市交通安全母の会連合会元会長
7	〃	えんどう ゆみこ 遠藤 ユミ子	本宮市母親クラブ連絡協議会元会長
8	要綱第3条第2項第3号 (地域住民)	ながお だいすけ 長尾 大輔	
9	〃	かたやなぎ へいはち 片柳 平八	
10	〃	えんどう さだみ 遠藤 禎実	
11	〃	くわばら かずみ 桑原 一美	
12	〃	わたなべ こういち 渡辺 弘一	
13	〃	すずき そうえい 鈴木 宗栄	
14	〃	ふゆむろ のぼる 冬室 昇	
15	〃	おおうち ひでお 大内 秀夫	
16	〃	かなや はるひさ 兼谷 晴久	

### 検討委員会開催経過及び内容

回	日 程	主な審議事項等
1	平成 26 年 7 月 7 日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本宮駅周辺東西アクセス整備計画書について</li> <li>・ 本宮駅東西自由通路等整備計画検討委員会のスケジュールについて</li> <li>・ 本宮駅東西自由通路等整備計画検討における前提条件の整理について</li> </ul>
2	平成 26 年 8 月 8 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 視察研修 (陸前落合駅、国府多賀城駅、名取駅)</li> </ul>
3	平成 26 年 9 月 30 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先進地視察報告</li> <li>・ 自由通路、駅舎等配置計画について</li> </ul>
4	平成 26 年 12 月 22 日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自由通路、駅舎等配置計画について (JR基本計画調査概要)</li> <li>・ 都市機能のあり方について</li> <li>・ 西口広場のあり方について</li> </ul>
5	平成 27 年 3 月 30 日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本宮駅自由通路等の整備について (アンケート調査の実施)</li> <li>・ 駐車場、駐輪場(西口広場)について</li> <li>・ 地域交流センターについて</li> </ul>
6	平成 27 年 5 月 25 日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本宮駅東西自由通路等整備アンケート調査結果と分析について</li> <li>・ 本宮駅東西自由通路等整備方針の意見集約について</li> <li>・ 地域交流センターの機能について</li> </ul>
7	平成 27 年 6 月 29 日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本宮駅東西自由通路等整備方針の意見集約について</li> <li>・ 駅周辺の都市機能の配置について</li> <li>・ 提言書の素案について</li> </ul>
8	平成 27 年 8 月 4 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本宮駅東西自由通路等整備計画策定に関する提言書(案)について</li> <li>・ 本宮駅東西自由通路等整備計画策定に関する提言書の提出</li> </ul>

## 本宮駅東西自由通路等整備計画検討委員会設置要綱

(趣旨)

第1条 この告示は、「本宮駅周辺東西アクセス整備計画」に基づき、「子どもからお年寄りまで安心して暮らせる、東西に活力あるまち」の実現に向けた、本市にふさわしい本宮駅東西自由通路等整備計画（以下「整備計画」という。）を策定するため、本宮駅東西自由通路等整備計画検討委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について協議、検討を行い、整備計画の案を策定する。

- (1) 本宮駅東西自由通路（駅舎及び関連施設含む。）及び本宮駅西口広場の配置、規模及び機能など整備に関する方針等
- (2) その他前号に関連する必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、委員16人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 各種団体関係者
- (3) 地域住民

3 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により選出する。

4 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から整備計画の案を策定するまでの期間とする。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

2 委員会が必要と認めるときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、建設部まちづくり推進課において処理する。

(その他)

第7条 この告示に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

- 1 この告示は、平成 26 年 6 月 12 日から施行する。
- 2 この告示の施行の日以降、最初に招集される委員会は、第 5 条第 1 項の規定にかかわらず、市長が招集する。

# 本宮駅東西自由通路等のアンケート結果とその分析について

本提言書の策定にあたり、市民の意見や意向を把握し、提言書に反映させることを目的としたアンケート調査を下記のとおり実施しました。

## 1. 調査方法

### (1) 調査対象

- ① JR本宮駅利用者
- ② JR本宮駅周辺居住者
- ③ 市各公共施設  
市役所ロビー、市役所まちづくり推進課、白沢総合支所、中央公民館、白沢公民館、えぽか、スマイルキッズパーク
- ④ ホームページ利用者

### (2) 調査期間

平成27年4月8日(水)から4月21日(火)まで14日間

### (3) 周知方法

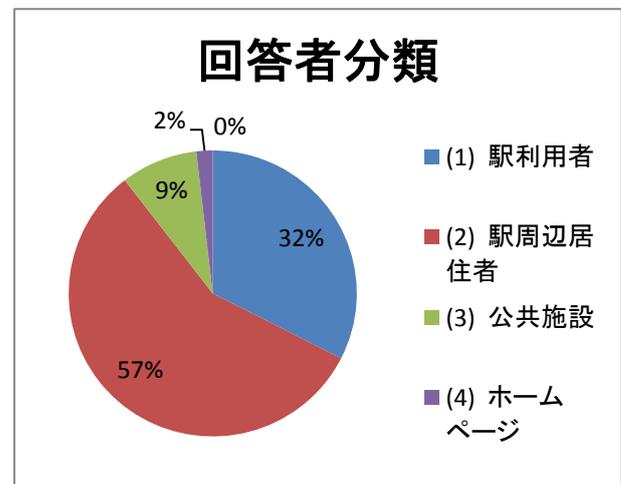
防災無線、ホームページ、FMモットコム

## 2. アンケート回収率

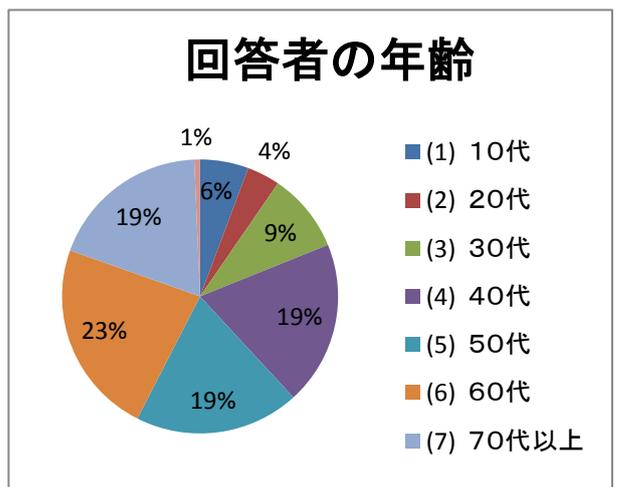
回収率 44% = 440枚(回収枚数) / 1000枚(配布枚数)

## 3. アンケート結果

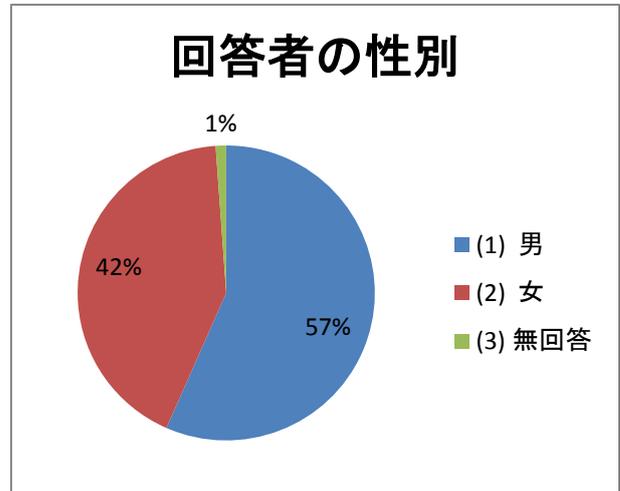
回答者分類		回答数	構成比
(1)	駅利用者	143	32.0%
(2)	駅周辺居住者	251	57.0%
(3)	公共施設	38	9.0%
(4)	ホームページ	8	2.0%
(5)	無回答	0	0.0%
	計	440	100.0%



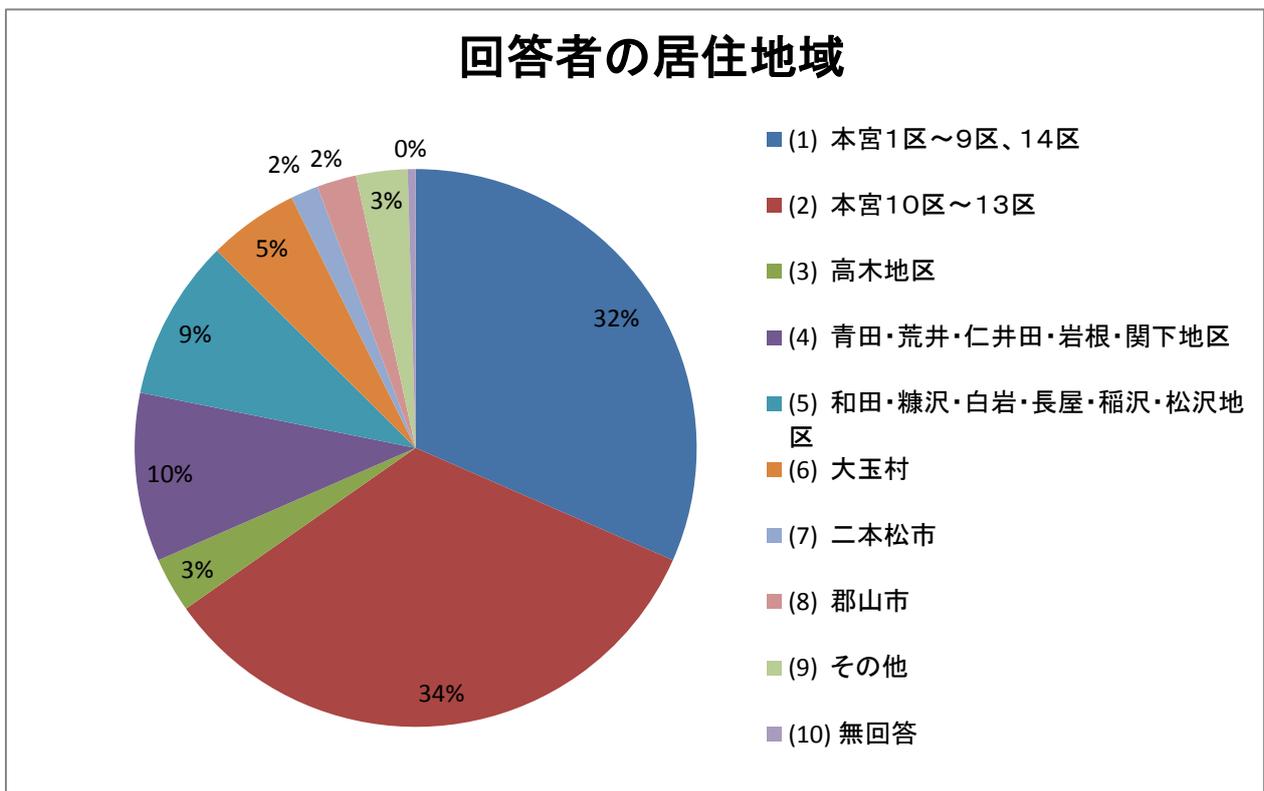
回答者の年齢		回答数	構成比
(1)	10代	25	6.0%
(2)	20代	17	4.0%
(3)	30代	41	9.0%
(4)	40代	85	19.0%
(5)	50代	85	19.0%
(6)	60代	101	23.0%
(7)	70代以上	83	19.0%
(8)	無回答	3	1.0%
	計	440	100.0%



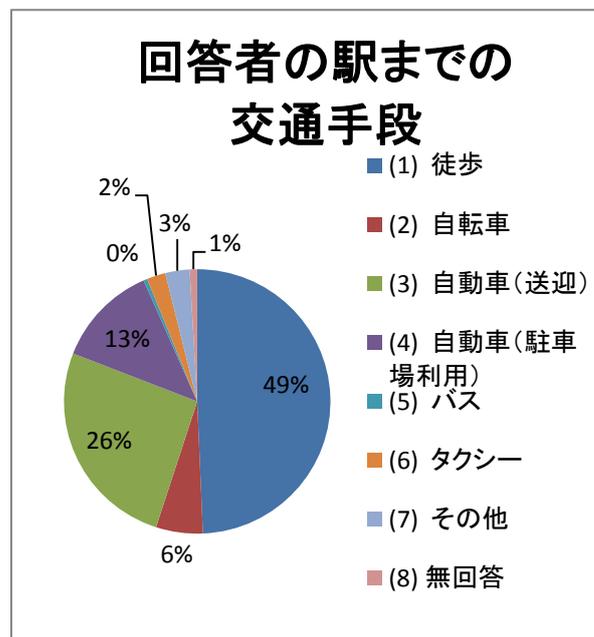
回答者の性別		回答数	構成比
(1)	男	249	57.0%
(2)	女	186	42.0%
(3)	無回答	5	1.0%
計		440	100.0%



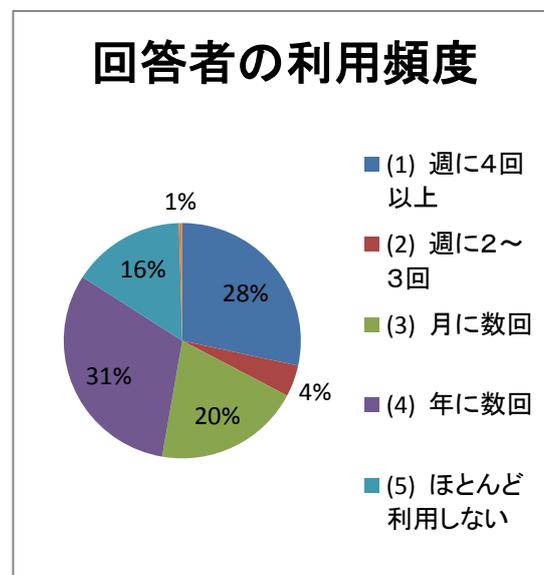
回答者の居住地		回答数	構成比
(1)	本宮1区～9区、14区	139	32.0%
(2)	本宮10区～13区	148	34.0%
(3)	高木地区	14	3.0%
(4)	青田・荒井・仁井田・岩根・関下地区	43	10.0%
(5)	和田・糠沢・白岩・長屋・稲沢・松沢地区	41	9.0%
(6)	大玉村	23	5.0%
(7)	二本松市	7	2.0%
(8)	郡山市	10	2.0%
(9)	その他	13	3.0%
(10)	無回答	2	0.0%
計		440	100.0%



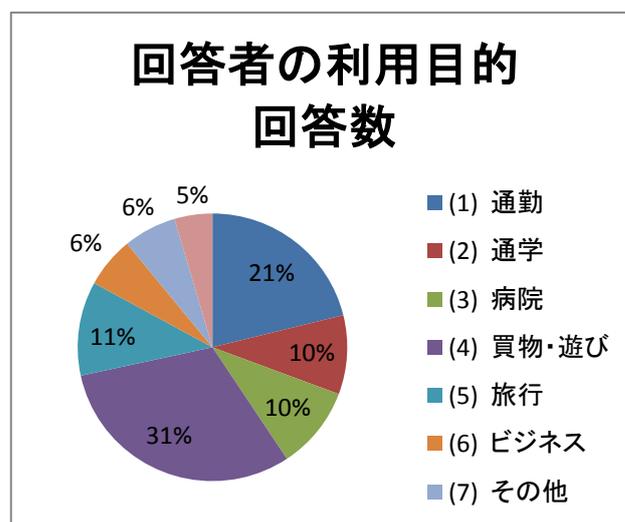
		回答数	構成比
(1)	徒歩	217	49.0%
(2)	自転車	25	6.0%
(3)	自動車(送迎)	114	26.0%
(4)	自動車(駐車場利用)	55	13.0%
(5)	バス	2	0.0%
(6)	タクシー	10	2.0%
(7)	その他	13	3.0%
(8)	無回答	4	1.0%
	計	440	100.0%



		回答数	構成比
(1)	週に4回以上	125	28.0%
(2)	週に2~3回	19	4.0%
(3)	月に数回	88	20.0%
(4)	年に数回	138	31.0%
(5)	ほとんど利用しない	68	16.0%
(6)	無回答	2	1.0%
	計	440	100.0%

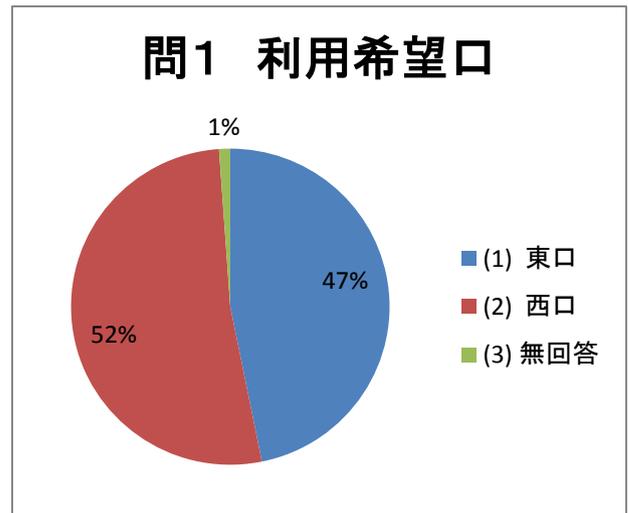


		回答数	構成比
(1)	通勤	93	21.0%
(2)	通学	42	10.0%
(3)	病院	44	10.0%
(4)	買物・遊び	136	31.0%
(5)	旅行	50	11.0%
(6)	ビジネス	27	6.0%
(7)	その他	28	6.0%
(8)	無回答	20	5.0%
	計	440	100.0%



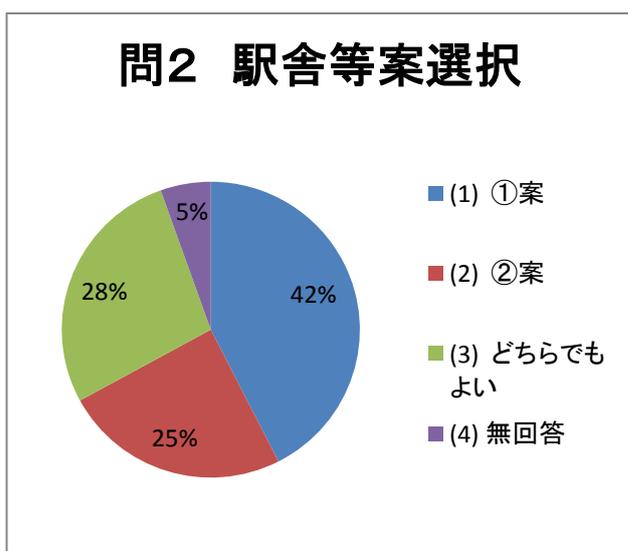
問1 本宮駅の東側と西側を自由通路でつなぎ西口が整備された場合、あなたは主にどちら側から本宮駅を利用したいと思いますか。

問1 利用希望口		回答数	構成比
(1)	東口	206	47.0%
(2)	西口	229	52.0%
(3)	無回答	5	1.0%
	計	440	100.0%



問2 本宮駅の場合、現在の駅を残して自由通路のみを設置することが不可能であるため、2階部分に駅舎(改札口は2階に1箇所)と自由通路を一体とした橋上駅整備を検討しています。別紙【駅舎と自由通路等の配置(案)】の①案と②案どちらの案が良いと感じましたか。

問2 駅舎等案選択		回答数	構成比
(1)	①案	187	42.0%
(2)	②案	108	25.0%
(3)	どちらでもよい	121	28.0%
(4)	無回答	24	5.0%
	計	440	100.0%



### 問3 駅舎・自由通路の意見 意見数94件

《主な意見》

障がい者や高齢者が利用しやすい、バリアフリー化された駅舎・自由通路を望む意見。

- エレベーター・エスカレーターを設置してほしい。
- 自由通路の幅員を広くしてほしい。
- 体の不自由な方や高齢者が利用しやすい駅にしてほしい。

待合室、多目的スペースの充実した、利便性の良い駅舎・自由通路を望む意見。

- 待合室・多目的スペースを広く、椅子を多く設置してほしい。
- 冬季間、寒くない待合室がほしい。

本宮市をPRできる特徴的な駅舎・自由通路を望む意見。

- 駅舎は本宮市の顔になるので使いやすくしてほしい。
- 維持管理のしやすいものにしてほしい。
- 自由通路から安達太良山がきれいに見えるようにしてほしい。

西口に待合室・トイレ・多目的スペースの設置を望む意見。

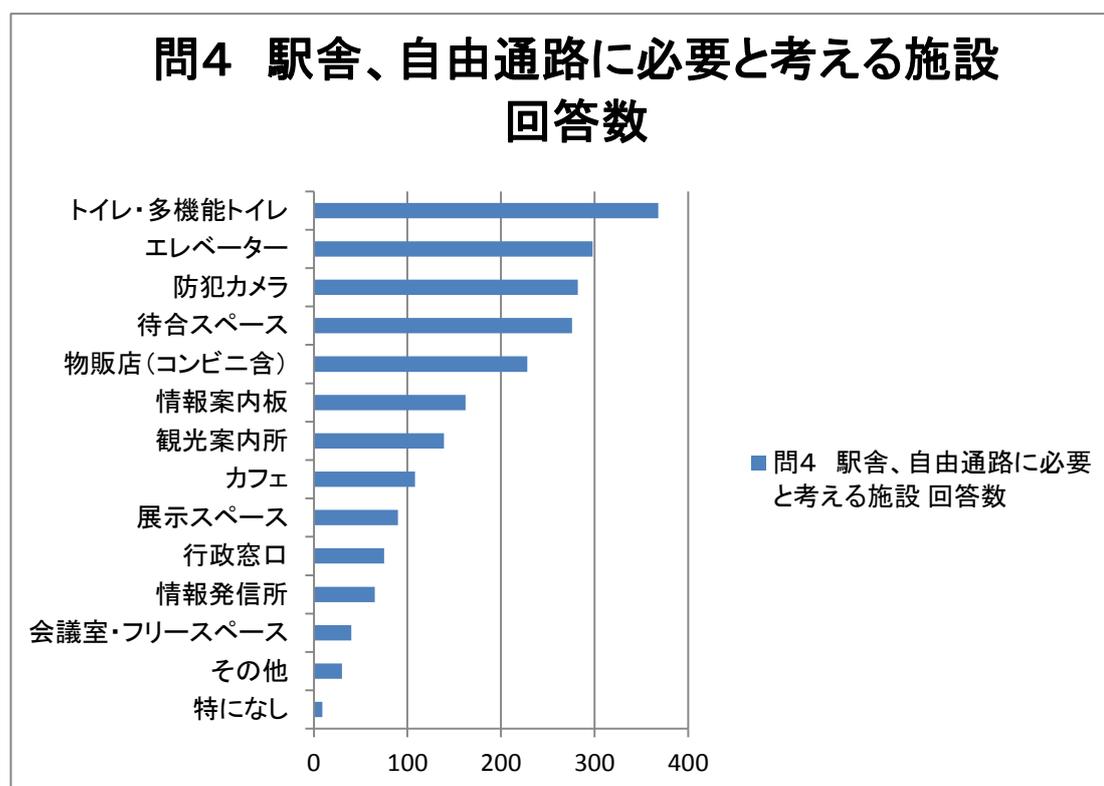
- 西口側に待合室・多目的スペース設置を。雨風を凌げる所がない。
- 西口1階にトイレを設置してほしい。
- 西口入口に屋根を設置してほしい。
- 西口には、商店等がないので、防犯面から明るくしてほしい。

その他の意見

- 自由通路(駅整備)の必要性がわからない。
- 歴史ある駅舎を保存してほしい。
- 駅舎が2階だと、1階部分が無用心だと思う。
- 図書館・コンビニ・売店を設置してほしい。

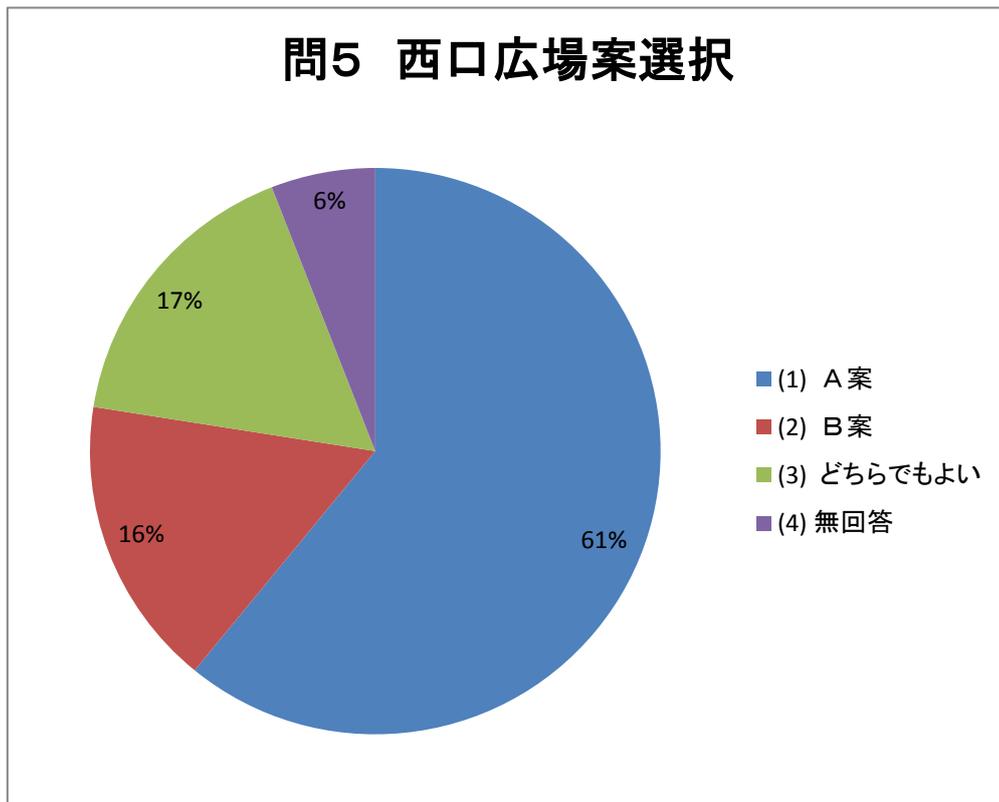
問4 本宮駅の整備に併せて、駅舎や自由通路内に必要と思う機能はありますか。(複数回答可)

問4 駅舎、自由通路に必要と考える施設			
		回答数	構成比
(1)	トイレ・多機能トイレ	368	17.0%
(2)	エレベーター	298	13.7%
(3)	待合スペース	276	12.7%
(4)	観光案内所	139	6.4%
(5)	展示スペース	90	4.1%
(6)	物販店(コンビニ含)	228	10.5%
(7)	行政窓口	75	3.5%
(8)	会議室・フリースペース	40	1.8%
(9)	カフェ	108	5.0%
(10)	情報発信所	65	3.0%
(11)	情報案内板	162	7.5%
(12)	防犯カメラ	282	13.0%
(13)	特になし	9	0.4%
(14)	その他	30	1.4%
	計	2,170	100.0%



問5 西口広場を整備する場合、【本宮駅西口広場(案)】のA案とB案どちらの案が良いと感じましたか。

問5 西口広場案選択			
		回答数	構成比
(1)	A案	268	61.0%
(2)	B案	73	16.0%
(3)	どちらでもよい	73	17.0%
(4)	無回答	26	6.0%
	計	440	100.0%



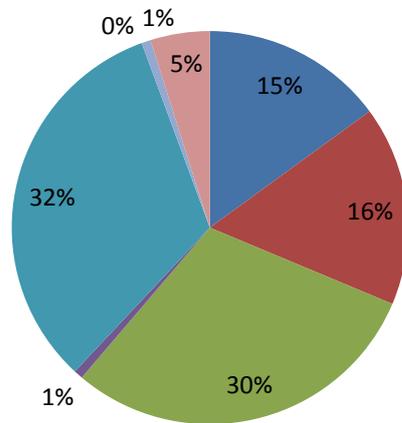
問6 問5でそのように感じた理由は何ですか。

問6 「西口広場の希望」と「問5を選択した理由」の関係

選択項目	A案		B案	
	人数	構成比	人数	構成比
広場全体の配置が分かりやすい	40	15.0%	17	23.0%
通行ルートが分かりやすい	44	16.0%	30	41.0%
入口と出口が分かれている	80	30.0%	4	6.0%
入口と出口が一箇所である	2	1.0%	11	15.0%
大型バスの進入が可能である	87	32.0%	1	1.0%
大型バスの進入を防いでいる	0	0.0%	5	7.0%
その他	2	1.0%	3	4.0%
無回答	13	5.0%	2	3.0%
合計	268	100.0%	73	100.0%
回答数	255		71	

A案を選択した回答者の理由

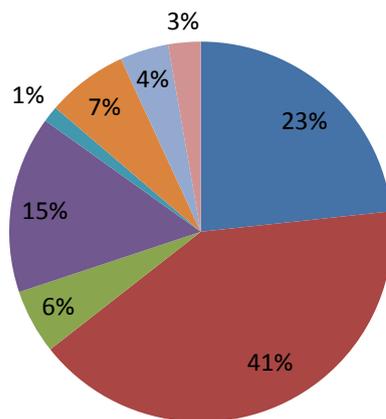
(n=255)



- 広場全体の配置が分かりやすい
- 通行ルートが分かりやすい
- 入口と出口が分かれている
- 入口と出口が一箇所である
- 大型バスの進入が可能である
- 大型バスの進入を防いでいる
- その他
- 無回答

B案を選択した回答者の理由

(n=71)



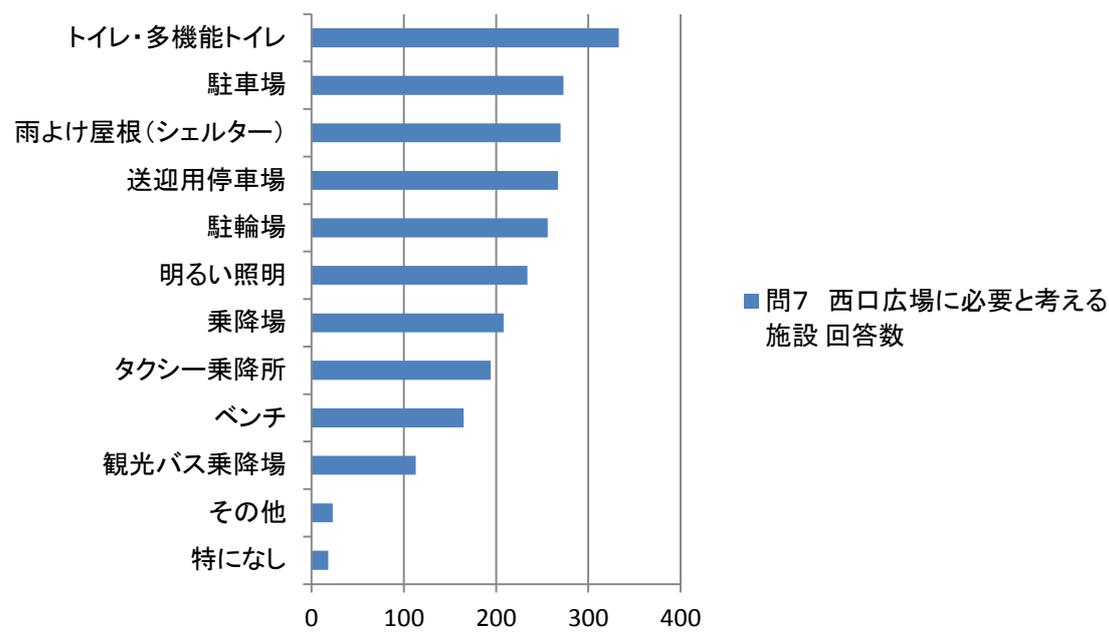
- 広場全体の配置が分かりやすい
- 通行ルートが分かりやすい
- 入口と出口が分かれている
- 入口と出口が一箇所である
- 大型バスの進入が可能である
- 大型バスの進入を防いでいる
- その他
- 無回答

問7 西口広場に必要と思う公共施設はありますか。(複数回答可)

問7 西口広場に必要と考える施設

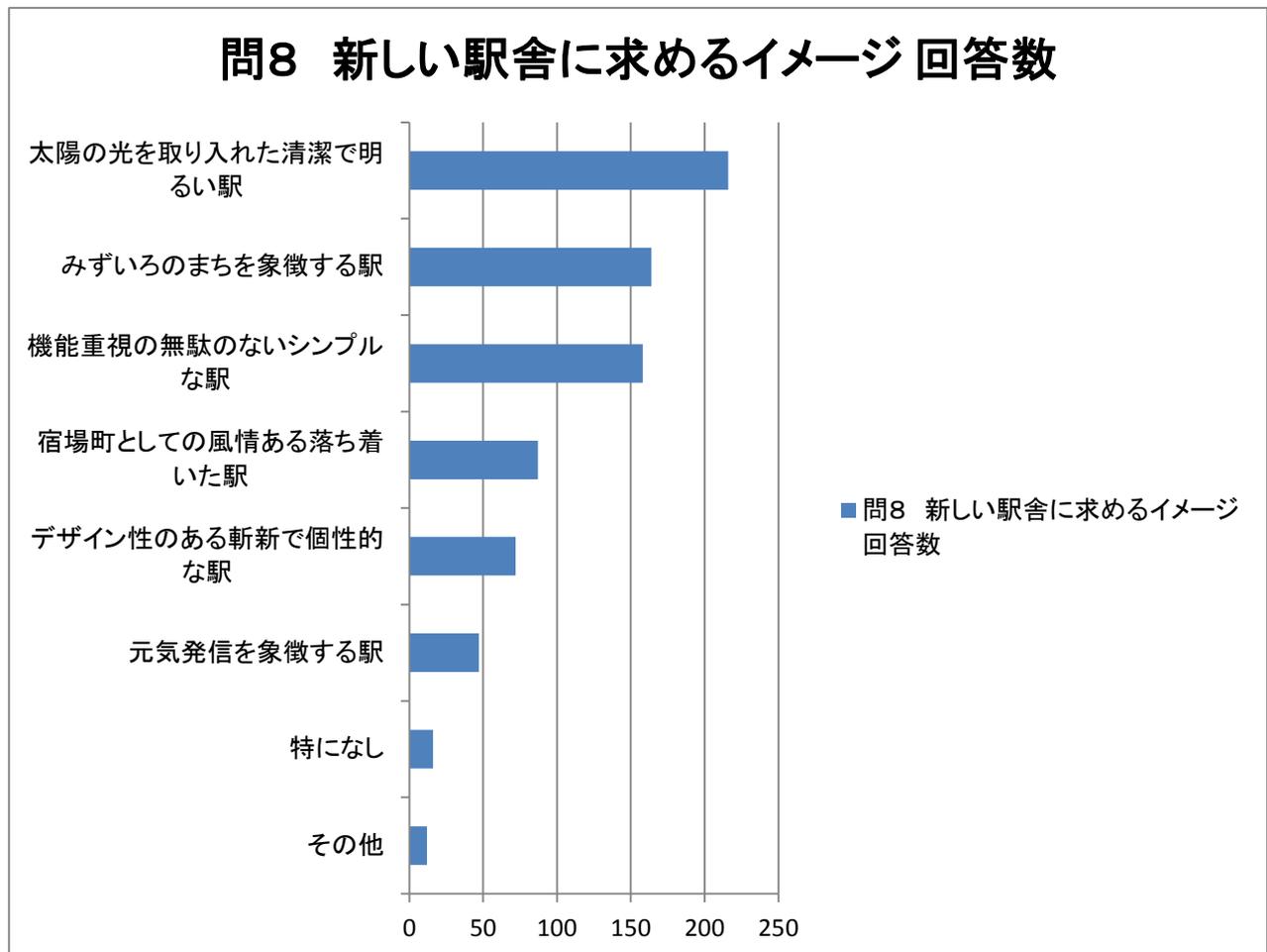
		回答数	構成比
(1)	トイレ・多機能トイレ	333	14.1%
(2)	駐車場	273	11.6%
(3)	駐輪場	256	10.9%
(4)	ベンチ	165	7.0%
(5)	乗降場	208	8.8%
(6)	送迎用駐車場	267	11.3%
(7)	タクシー乗降所	194	8.2%
(8)	観光バス乗降場	113	4.8%
(9)	雨よけ屋根 (シェルター)	270	11.5%
(10)	明るい照明	234	9.9%
(11)	特になし	18	0.8%
(12)	その他	23	1.0%
	計	2354	100.0%

問7 西口広場に必要と考える施設 回答数



問8 新しい駅舎に求めるイメージはどのようなものがありますか。(複数回答可)

問8 新しい駅舎に求めるイメージ		回答数	構成比
(1)	みずいろのまちを象徴する駅	164	21.2%
(2)	元気発信を象徴する駅	47	6.1%
(3)	宿場町としての風情ある落ち着いた駅	87	11.3%
(4)	太陽の光を取り入れた清潔で明るい駅	216	28.0%
(5)	機能重視の無駄のないシンプルな駅	158	20.5%
(6)	デザイン性のある斬新で個性的な駅	72	9.3%
(7)	特になし	16	2.1%
(8)	その他	12	1.6%
	計	772	100.0%



## 問9 駅周辺のまちづくりに対する意見 意見数172件

### 《主な意見》

自由通路等の整備を早期に望む意見。

- 長年待っていた。早く西口・自由通路の整備をしてほしい。
- 通学・通勤で踏切りを通らなくてすむので安全になる。混雑が解消され、便利になる。

障がい者や高齢者が安心して利用できる、安全面・防犯面を考慮した整備を望む意見。

- ユニバーサルデザインを多用し、障がい者や高齢者にやさしい駅にしてほしい。
- エレベーター・エスカレーターを設置してほしい。
- 防犯の面から、駅舎、自由通路内が見通せるように。照明等を多く設置してほしい。
- 防犯カメラの設置で安全性を確保してほしい。
- 車も歩行者も安全に通行できるようにしてほしい。

本宮市をPRできる特徴的な自由通路等の整備を望む意見。

- 本宮らしさのあるものにしてほしい。ランドマークになり得る個性的な試みを。
- 観光客が本宮にまた来てみたいと思わせる様な印象深い駅舎に。
- あまりお金をかけず、シンプルなものにしてほしい。

待合室、多目的スペース等の充実した、利便性の良い自由通路等の整備を望む意見。

- 待合室に学習スペースを設置してほしい。椅子を多く設置してほしい。
- 図書館・コンビニ・売店・カフェ・菓子店等、誰でも気軽に立ち寄れる施設。

4号線からのアクセスの良い西口の発展と広場の充実を望む意見。

- 西口には、大型バスも乗り入れできるようにしてほしい。
- イベント広場を設けるか公園化スペースを併設してはどうか。
- 交流センターは西口に設置望む。
- 駐車場スペースを確保してほしい。

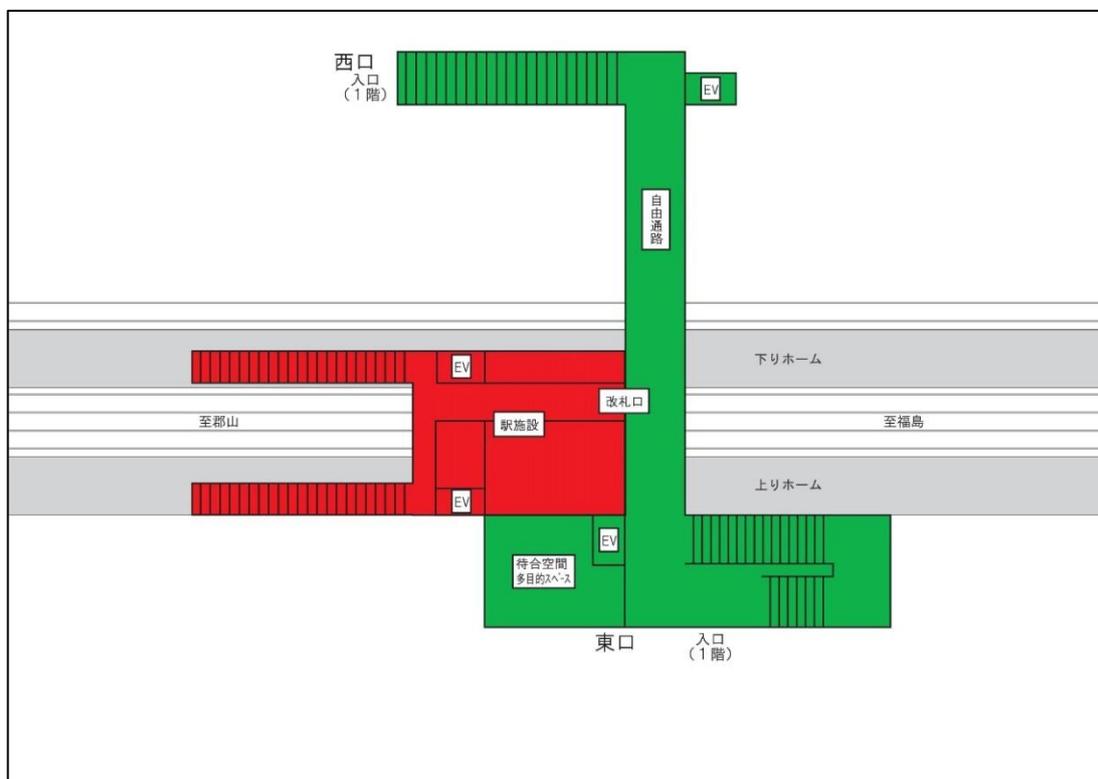
その他の意見

- 行政機能(保健師相談窓口等)の設置
- 商業施設の駅前誘致。観光拠点としての機能を。
- 無理して自由通路等の整備しなくてもよい。
- 今までどおり、1階に改札口を設置してほしい。
- 歴史ある駅舎を保存してほしい。既存の建物を利用してほしい。
- 人が自由に東西を行き来できればよい。
- 大規模な開発は、維持管理や安全性を考えるとしないほうが良い。

## 4. アンケート結果の分析

### 駅舎・自由通路の1案と2案の希望意向について

駅舎・自由通路の希望については、「1案」が42%、「2案」が25%となり、下記の「1案」の駅機能を線路上空に配置した、駅舎の配置がわかりやすい案の希望者が多い結果となった。



### 駅舎・自由通路及び駅周辺のまちづくりについて

問3の「駅舎・自由通路に対する意見」、問9の「駅周辺のまちづくりに対する意見」の自由回答からは、意見を記載いただいた方の大半は整備に関して好意的な回答を得ることができた。

主な意見としては、全般的に「障がい者や高齢者が利用しやすい、バリアフリー化された駅舎・自由通路を望む意見。」が多くみられ、進む高齢化に対応し、高齢者等に優しい施設（エレベーター等）の整備を望む意向が見られた。駅舎・自由通路内に必要な機能の要望においても、「トイレ・多機能トイレ」17.0%や「エレベーター」13.7%の整備の希望が多い結果となり関心の高さが窺えた。

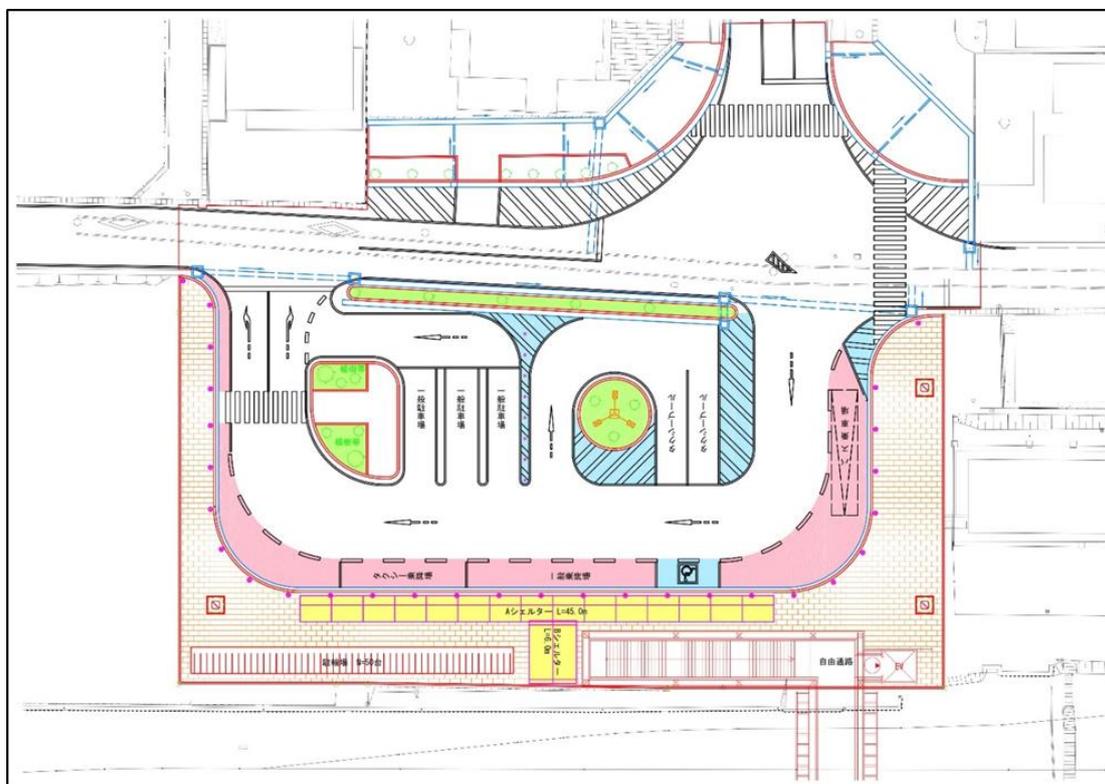
また、「安全面・防犯面を考慮した整備を望む意見。」も多い結果となり、防犯の観点から、防犯カメラの設置、照明等を多くした明るい施設の整備、駅舎・自由通路内が見通しの確保、歩行者・車の安全な通行の確保等の声が多く聞かれた。駅舎・自由通路内に必要な機能の要望でも、「防犯カメラ」が13.0%と整備の要望が多かった。

さらに、「待合室、多目的スペースの充実した、利便性の良い駅舎・自由通路を望む意見。」が多かった。その要因としては、駅舎の待合スペースが少ない現状があることから、快適に待ち時間を過ごすことのできる待合スペースやベンチ等の整備への要望につながっていると考えられる。必要な機能の要望においても、「待合スペース」の設置は12.7%、物販店（コンビニ含）が10.5%と高いものであった。また、「案内案内板」、「観光案内所」、「情報発信所」等の「本宮市の賑わいに繋げる情報を発信できる施設」を望む声も多かった。

## 西口広場のA案とB案の希望意向について

西口広場の希望意向については、「A案」61%、「B案」16%となり、**入口と出口が分かれています、大型バスが進入可能である「A案」**の方が多く結果となった。

理由としては、「入口・出口が分かれている」「進行ルートが分かりやすい」「大型バスの進行が可能である。」が多い意見であった。



## 西口側の整備と西口広場について

今回のアンケートでは、西口側の整備にかかる要望も多く見られ、4号線からの好アクセスの良い点を生かした、西口の発展と広場の充実を期待する声が多かった。

その中でも、「**西口側にも待合室・多目的スペースの設置すべき**」の要望が多く、西口に必要施設・設備としては、「トイレ・多機能トイレ」、「駐車場」、「駐輪場」、「送迎用駐車場」、「雨よけ屋根（シェルター）」等が多くの要望であった。また、「**安全面・防犯面を考慮した整備を望む意見。**」として、西口を防犯上の照明を多くし明るく整備してほしいとの意見も多かった。

## 駅舎に求めるイメージについて

新しい駅舎に対する要望については、本宮市の顔となるので本宮らしさのある個性的で特徴的な駅舎・自由通路を望む意見がある一方で、**シンプルで機能的で使いやすく、極力経費を抑えて、維持管理のしやすいものにしてほしい**という意見も多い結果となった。

駅舎に求めるイメージの複数回答の設問からも、「太陽の光を取り入れた清潔で明るい駅」が28.0%、「みずいろのまちを象徴する駅」が21.2%、「機能重視の無駄のないシンプルな駅」が20.5%となっており、**整備費用を抑えながらも、充実した機能を備えたシンプルで清潔感のある、明るく開放的な駅舎**を望んでいる結果となった。



